

地域産学連携センターだより第6号

事務局 研究・地域産学連携担当
内線 2152 E-mail edec@spu.ac.jp

地域産学連携センターでは、センターで行っている取組や、教員・学生の皆さんの活動を取りあげてご紹介する「地域産学連携センターだより」を不定期で発行しています。

昨年度の7月から発行を開始し間もなく1年になりますが、これまでに「地域連携の取組」「オープンカレッジ」「学生の活動」「自治体との連携事業」等を取り挙げました。

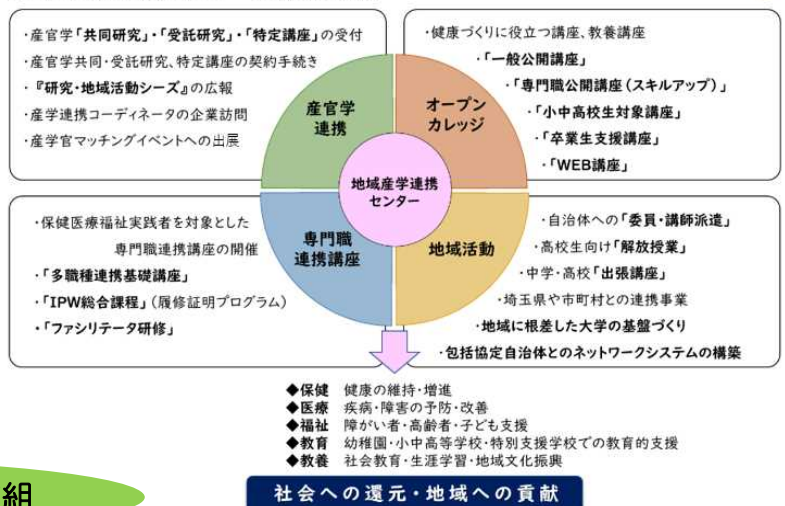
この4月から本学に入られた学生の皆様、先生方も多くいらっしゃると思いますので、今年度初めての発行となる第6号では、改めて「地域産学連携センターとは？」を紹介させていただきます。

地域産学連携センターを身近に感じていただき、一緒に活動する機会が出来ましたら嬉しいです。

「地域産学連携センター」とは？

「社会貢献」は、「教育」「研究」と並ぶ大学の重要な使命の一つとして位置づけられています。地域産学連携センターは、本学の社会貢献の窓口として、保健医療福祉や教養に関する教育・研究成果とその専門性をいかした「**地域連携**」「**産官学連携**」に取組んでいます。

地域産学連携センターの事業構成



地域産学連携センターの具体的取組

地域産学連携センターでは主に、①**オープンカレッジ**、②**地域活動**、③**専門職連携講座**、④**産官学連携**の4つの取組を行っています。具体的にご紹介します。

オープンカレッジ

「**オープンカレッジ**」は、本学の保健医療福祉分野の専門性をいかして、健康づくりに役立つ公開講座や、卒業生や専門職向けの講習会、研修などを行うものです。

「オープンカレッジ」という名称は、一般の方や卒業生、専門職の方に向けて学習機会、キャリアアップ、スキルアップにつながる講座を提供する、地域や社会に開かれた「もう一つの大学」という思いを込めて命名されています。

開催講座のご紹介

(5月末までに開催した講座の一部を御紹介します)
5月27日(土)に、理学療法学科 井上和久准教授による「健康のために取り組む生活習慣病の対策」を開催しました。前半は、生活習慣病についての理解や対策に関する講義を行い、後半には具体的な運動方法を説明し、参加者に実際に身体を動かしてもらいました。参加者は先生の講義に耳を傾けたり、教えてもらった自宅でできる運動を試したりと、熱心に受講されていました。



専門職連携講座

本学は開学以来、全国に先駆けて「**IPE(Interprofessional Education、専門職連携教育)**」に取り組んできました。

そのノウハウを伝え、保健、医療、福祉、介護分野の専門職・職員が、日頃の業務で必要とされる専門職連携や協働の力、課題解決の力をレベルアップできるよう「**専門職連携を学ぶ講座**」を開催しています。

2023 年度開講予定

2023 年度は、昨年度までの「IPW 総合課程」を再編し、**5つの講座**を開講予定です。

- ①多職種のためのチームビルディング研修
- ②ファシリテータ研修
- ③IPWを促進するF-SOAIIP研修
- ④多職種連携チームによる実践事例研修
- ⑤多職種チームによる実地研修



詳細は本学 HP から

地域活動

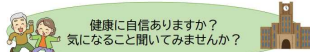
2023 年度の取組

地域活動プラットフォーム始動

学生の皆様の地域活動を応援する「プラットフォーム」をつくりました。

地域の皆さまからの地域活動の情報も掲載していきますので、情報をお待ちしています。

埼玉県立大学が千間台記念会館で開講！
まちなかキャンパス参加者募集！



まちなかキャンパス開講

「地域に根ざした大学」を目指し地域でミニ講座や相談会を実施します(月1回開催予定)。

本学で実施している**地域活動**は多岐に渡ります。

高校等への出張講座、高校生やシニアの方を対象とした開放授業、包括連携協定を結んでいる近隣自治体との連携事業や、地元の自治会等と一緒に
行う取組などなど…。

学生の参加を呼び掛ける取組もありますので、是非御参加ください！

産官学連携

大学の研究成果を地域社会に還元する**産官学連携**の取組として、共同研究、受託研究、特定講座を行っています。また、ビジネスマッチングイベントへの出展や研究・地域連携シーズ集の発行なども行っています。

産官学連携については、**次のセンターだよりで特集予定**です。お楽しみに！

学生募集

「夏休み子ども学習室」

ボランティアスタッフを募集します

昨年度に引き続き「夏休み子ども学習室」の運営スタッフを募集します。

昨年度は参加した子どもたちが「お兄さんお姉さんと一緒に勉強ができて楽しかった」「また参加したい」と目を輝かせていたのが印象的でした。

本学内での実施に加え、今年度は「武里地区」での学習室も加わりました。

短時間のお手伝いでも

結構です。お待ちしております。



千間台西夏まつりが5年ぶりに開催されます

コロナ禍の3年間とその前年の豪雨での中止以来約5年ぶりに「千間台西夏まつり」が7月16日(日)に開催されます。本学からは「アイドルコピーダンスサークル May Be」と「アカペラサークル Joy」がステージに出演する他、お祭りの運営をお手伝いしてくれる学生さんの募集もしています。

ちょっとした模擬店もあるそうなので、ぜひ参加してみてください。



第6号は今年度初の発行ということで、改めて地域産学連携センターについて紹介しました。センターについて理解を深めていただけたら嬉しいです。

ご覧いただいた感想、これから取り上げてもらいたい事柄など、是非ご意見をお寄せください。